

雪と親子

多田龍介

## 目次

クリスマス	6
英会話レッスン	8
U F O にお願	10
隙間風	12
薬局にて	14
ストライキ	16
彼方此方	18
今日、勉強	20
冷戦	22
戦況	25

いいもの

さがサーガ

料理できたら

著名人レシピ

曇天に思うこと

暖冬に

クッキーをもらったか

イタコさん

病床の坊さん

雪と親子

あとがき

26

28

30

32

34

36

38

40

42

44

47





## クリスマス

わーい

自動ドアだあ

裏で奴隷が

歯車を回す

人力で

わーい

デジタルだあ

裏で社畜が

データを入力

手作業で

この街がネオンで彩られるころ  
あの街の空には爆弾が降り  
こんなにきれいなことから  
光源は  
さぞかし酷いに違いない

## 英会話レッスン

全然めでたくない正月がありました  
形ばかりの春が来まして

もうちょっと上げて行きましょう！  
上がるわけあるかいや

気を揉んだってしょうがない  
Let it be の精神で

そんなに丸ごと投げんなよ  
じゃ Let's take a look の精神で

トランプなんですが大丈夫？

そして Never gonna be a joke へ

そこに笑いごとで生きてない人がいる  
大切にしてやってください

UFOにお願い

かねてから

懸念していたことが

懸念していた通りに

それでも

助けない

風船が

萎むように

あっという間

また

膨らまそう

人生は放物線  
って垂直落下  
してるでしょ  
無軌道なもの  
これでは遺憾

## 隙間風

これでいいのだ  
と

言えばぶっ飛ばされそうな  
木枯らしが吹く  
秋の夕

僕は掛け値なしに  
いいやつだった  
それを知れただけで  
俺たちは  
満足なんだ

でも生活の問題は  
据え置かれるでしょう  
そんなんで  
食べて行けるか  
どうにかしろと

## 薬局にて

若くて強くて大きいのがいいの

老けて弱くて小さいのを踏みつけてください

踏みつけたのだ、実際

対比として

就寝は何時ころ

起きるのは

日中何をして

いちいち聞かなくていいよと、おっさん

おっさんは老害か

おっさんの方が正しいのだ

誰であれ生活にまで踏み込むことはできない  
はずなのだが踏み込ませた結果

社会はズタボロに

君の知っていることすべてが間違っているとしたら  
廃人から組み立てた人の言葉を  
聞くのもいい

## ストライキ

家にいて

眺めている

世界はうまく

回っているか

否

家にいて

よかったです

胸

撫でおろし

昼

僕が世に  
出ないから  
うまく  
回らんものを  
悲し

## 彼方此方

笑ってもいいかと聞くの悲しいな

怒ったらダメかと聞くのいいんです

何かしたい何もできない悶絶す

本ができます何それおいしいの

一人分だけでも喜ぶつもりです



## 今日、勉強

学生の頃に

僕も覚えがあるのだけれど

一生懸命生きてると

一球入魂で生きてると

余計なものは視野の外に流せ

で的に集中し

必然、傍若無人にも見える

そういうことなのだ

碎け散り、少し周りが見えるようになったけれど

見えないままでも構わない

集中力は確かだから

## 冷戦

三十年

家に籠って暮らすのは不自然だ  
しかしそれとて

生まれる以上に不自然ではない  
奇跡はいつも起こっている

和姦がない

わかんない

いいよ、そんな言うならさ

セックスなんていらぬよ

少子化

一般的にいつて

欲しい方が頭を下げるべきだ

んゝ、それが人にものを頼む態度か

欲しいと言える者は

強い



## 戦況

従順さで囚人の憂いは免れぬ  
自由を求め、逡巡<sup>しゅんじゅん</sup>するな  
散々説かれ

陰惨な世に野垂れ死に

どうしようもなく

相手が悪いと

今、諦観す

いいもの

日本にはいいものがある  
たとえば大航海のゲーム  
よくできている

海外の人

おいしくいただいている

逆輸入的に

気づくことが多い

攘夷論ではなく

誇れるようになるまで

あと幾数世

たとえば僕

なるほど菩薩であつた

政治家を見る

菩薩とか

求められてなかつた

さがサーガ

涙の数だけ弱くなります  
傷ついた分だけ狂暴になります

そうでしょう

それが人の性分

名もなき花はない

もし名前がなかったら

名前をつけてやる

大発見だ



料理できたら

えぐい話が続く

えぐみとか、誰が求めているのですか

需要があるんですよ

凌辱ものとかあるでしょう

そんなものは求めとらんよお

熱闘消毒してみましよう

煮てみましよう、焼いてみましよう

煮ても焼いても食えない他人

と接した時にどうするか  
を問われているのだ

引き籠ろう

それが僕の回答

ぶん殴ろう

それが君の回答

待て待て待て

他にないのかよ

マテ茶でも飲んで

リラックスしていこう

## 著名人レシピ

芸能人と一般人だと

だいぶメンタリティ違うだろう

だってステージ下で

ピギーツて鳴くんだけ

いえ、ピギーツとは鳴かないかと

しかし傲慢にもなる

だから芸人であるまえに

人間であれって言ったんで

煽り耐性や余裕も

いくらかあるかもしれない

ここに危機が来る

同じ人間であつたと気づく

上に置くか下に置くか

悩みどころ

## 曇天に思うこと

百年残る普遍性……

三日前の投稿も

覚えていない

鮮度が命

刺身か

新しくなくても

いいと思うんです

井戸があつたら

言っても詮無い

事だったか

一番は

一番責任が重い

わかってない風だから

釘を刺したいが

じゃ、僕は十番くらいで

暖冬に

安心したから眠いのだ

女から意気地なしとなじられて

意気地を振るう場面があつたか

育児も振るわないってわけ

慢心したから責められる

暖かいから眠いのだ

蚊が飛んじどるだろうが、十二月

神風ですと？ もちろん狙ってたさ！

それでも危険なことに変わらず

政治家は辞世の句を読む、知らんがな

僕はただ自分の楽しい詩を紡ぐ

クッキーをもらったか

生かすため

全力を注ぐ

そしてコケにされる

いいんです

こけこっこ

子どもみたいに感じて

大人みたいに考えられる

今、

よかったですと思う

縋<sup>よ</sup>れてるけど

また桜が咲くよ

こう余裕がないと

ふうん、で流れてしまう

プリンのカラメルは

大事だ

## イタコさん

深刻に書くということができなくて

深刻になつたら

奈落の底まで

沈んでいきそうで

板子一枚下は地獄ぞ

平和はいい

世界情勢

忍び寄る

ぐろい影

板子一枚下は地獄ぞ

洋上なんじゃないか  
小さな舟で

頼りなく漂う

板子一枚下は地獄ぞ  
養生してください

## 病床の坊さん

死にゆくときはことごとく厳しい

元氣なときは生き方指南でほらも吹きまくったが

今は口数も少な、魂の信仰もないのでただ苦しい

私は幸せだったし、今も幸せだと思えるならいい

幸せ分は当たり前の範疇はんちゆうに入り帳消されている

ありがとう、打てば唱える魔法の言葉



## 雪と親子

雪が降り、はしゃぐ子どもと泣く大人

そこで子をぶつ飛ばしたら虐待だ

まず親がそして医療がとどめ挿し

殺伐とした世の中じゃいけません

回復し庭を見ながら雪見酒





## あとがき

この詩集は二〇二三年十二月ころから二〇二四年四月ころにかけて書いた詩、二十編をまとめて編まれた。中の五行歌『イタコさん』と『ストライキ』は書き下ろしになる。

いつもあとがきでは近況報告めいたことを書いていた。といっても僕の生活は変わり映えのしない動きのないもので、似たり寄ったりのものだったように思う。このところは、天災や病いなど書き留めるには重いことばかり起こった。と書いてみて、今までと変わらんかとため息をつく。

比喩や詩情に託して、いろんなことが詩に盛り込まれている。これが近況報告にもなるのかと、また一冊作ってみた。読んでくださった方々に感謝である。  
ではまた。

二〇二四年四月三日

多田龍介

# 雪と親子



令和六年四月六日  
初版発行

著者  
多田 龍介

発行者  
多田 龍介

発行所  
明水工房